



『ぱんだより』

※パンダからの便利という意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第8号(2008年6月5日)「温暖化対策と風力発電」



成長の影で・・・。

最近、巷では「マイ箸」(自分で持ち歩くお箸)を持つ人が増えているようです。その背景には、環境保護に対する関心の高まりにより割り箸の使用を減らそうという動きがあることと、また割り箸の値段が高騰していることにあります。割り箸は、毎年250億膳使い捨てられており、その90%以上が中国からの輸入材とのことです。(環境庁より)しかし、このお箸の大輸出国は、今深刻な環境問題に直面しています。

先日、毎年定例となっている国際交流会議『アジアの未来』が都内で開かれました。今年は中国をはじめとするアジア諸国の経済成長と環境をテーマとしており、近年、著しく発展を遂げたアジアの環境保全の取組みが議題の中心になりました。

急成長する中国の環境問題

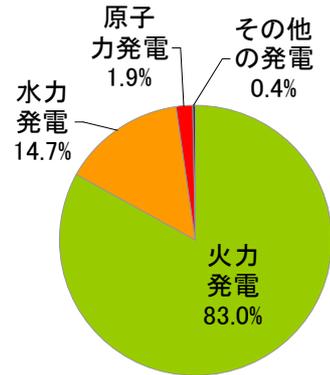
中国国内では既に経済発展の反動によるエネルギー不足や環境汚染問題に強い危機感を抱いています。しかし、エネルギー削減には未だ十分な成果が得られず、また環境保全にも着手が遅れており、日本をはじめとする先進国からの環境保全技術の導入が真剣に検討されております。こうした中、先日、胡錦濤国家主席の訪日がありました。これは日本の環境保全の先端技術の導入やその協力を求めた環境外交とも言われています。

中国経済の成長に伴い、中国のエネルギー需要も急速に上昇しています。そのため中国は既に米国に次ぐ世界第2位の石油消費大国となっています。

生活レベルの向上に伴い、都市部ではテレビなどの電化製品が普及し、電力消費量も急上昇しています。この急激な需要に対して、供給のスピードが追いつかないため、頻繁に起こる停電にも悩まされています。また、電力供給の大半を火力発電に依存していることが都市型公害をもたらし、世界で最も公害のひどい20都市のうち16都市が中国にあります。世界銀行の調査によれば、中国では毎年少なくとも40万人が大気汚染に関連した病気で死亡しているそうです。

こうしたことから、今後の経済成長には環境への配慮が必須と言えるのです。

中国の電力供給(単位:億kWh)



出所: 国家統計局
 (2007年現在)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



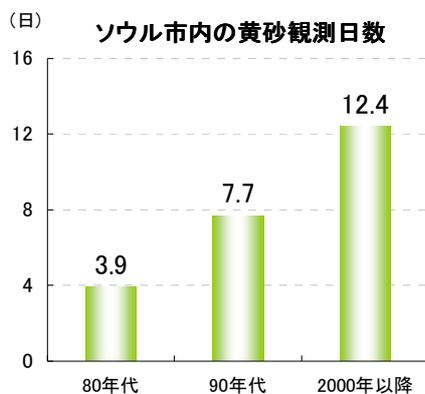
『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート

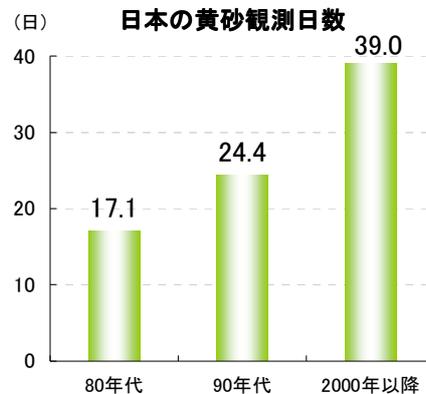


環境外交

最近日本でも良く聞くようになった、中国北西部の砂漠化が原因の一つと言われている黄砂ですが、これは中国のみならず近隣諸国の環境にも大きな影響を及ぼしています。特に韓国のソウルでは、黄砂発生日が、年間3.9日だった80年代に比べ、2000年以降は約3倍に増加しているそうです。日本においても数年前から黄砂が増加し、農作物や健康への被害が問題視されています。こうした環境問題は、一国の国内問題としてではなく、今や世界的な問題になっているのです。



出所：韓国環境省、「アジアの未来」
2008年5月23日



出所：気象庁
2008年5月末現在

新たなエネルギーへの取り組み

中国の環境問題の取組みの一つとして、石炭や石油等を燃料とする火力発電を減らし、風力発電、太陽光発電、水力発電などの新エネルギーへ転換していくことに関心が高まっています。新エネルギーへの転換促進を進展させることが、エネルギー供給量の増加と多様性、ひいては二酸化炭素の排出削減目標を実現させる鍵だと考えられています。

アメリカエネルギー財団では、2005年～2020年で中国のエネルギー関連の投資総額は約268兆円におよぶと予測しています。そのうち、風力発電をはじめとする新エネルギーへの投資額は、約103兆円です。また、年平均の投資額にすると、約4兆～6兆円にものぼると言われており、中国では国家を挙げて新エネルギーの開発に取り組んでいます。

《環境に優しいエネルギー》
例：自然が電気を作り出す風力発電



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



中国の風力発電

世界風力エネルギー協会(GWEC)が発表した最新データによると、2007年の中国の風力発電は3,449メガワット増加、総電量は6,050メガワットとなり、前年比132.3%の上昇となりました。これは世界一の増加率であり、海外の大手エネルギー企業の幹部は、「中国の風力発電産業の発展スピードには驚くばかり。今後の中国の風力発電市場に大いに期待している。」とコメントしています。

GWECによれば、2010年には、中国の風力発電量は1万～1万2,000メガワットに達成すると予測しており、中国政府も2020年までに総エネルギーの約12%を風力発電などの新エネルギーを使って発電すると発表しました。そのため、中国の風力発電は、海外からも注目が集まっているのですが、これは高い風力発電の技術を有する日本企業にとっても、大きなビジネスチャンスとなっています。

中国の風力発電の規模



*1メガワットは100万ワットに相当し、100ワットの電球を1万個点灯させるのに十分な電力です。これは、エネルギーの使用状況にもよりますが、600～1,000世帯が1日に消費する電力を十分まかなえるエネルギー量です。

出所: 中国風力協会、聯合証券予測、2006年7月

地球環境を考える『MOTTAINAI』

環境保全の分野においては、今後高度な技術を有する日本企業の活躍が予想されていますが、そんな中、なんと日本語が世界の環境を考えるスローガンになっています。

環境分野において、初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんは、日本語の「もったいない」*の意味を知り、非常に感銘を受けたそうです。かけがいの無い地球の資源に対して、尊敬を込めて『MOTTAINAI』をスローガンに活動されています。日本から生まれた言葉が今、世界の環境問題を考える合言葉になっているのです。

※「もったいない」(意味: 有用なのにそのままにしておいたり、無駄にするのが惜しい)

(編集後記) 最近、麻布で食事をする機会が増えました。やはり、大人の町だと感心します。駅から少し歩いて東京タワーの足元にあるお店や駅近くの焼き鳥屋。そこで上司そっくりの人が焼き鳥を焼いていた。お店の雰囲気やサービス、混雑具合などゆとりを感じるお店が多いです。また街中に目を移して見ると素敵な人々、駅近くの神社も風情を感じさせます。こうしたほのぼのとした暮らしも安心できる地球環境あってのもの、としみじみと感じる今日この頃です。

(知恵越え悟る&見に行っちゃイナ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。